

2024年8月 26 日

記者會、記者クラブ 各位

岐阜大学に大学院「社会システム経営学院」を新たに設置 ローカルビジネスイノベーションで未来を創造する

岐阜大学は、令和 7 年 4 月に、大学院「社会システム経営学院」(修士課程)を新たに設置します。

「社会システム経営学院」(以下、本学院)は、令和 3 年 4 月に設置された学士課程「社会システム経営学環」の上位組織として設置される「経営学を学ぶための大学院」です。修了後には、「修士(経営学)」の学位が授与されます。

岐阜のようなローカル地域においては、自然資源は豊かである一方で、人口減少、少子高齢化、若者の流出などに伴う地域競争力の相対的な低下に見舞われています。それゆえ、都市部と比較した時に、相対的にヒト・モノ・カネ・情報等の経営資源が乏しく、ローカルビジネスにおいては、多数の経営上の課題に直面しています。

本学院では、「ローカルビジネスイノベーションで未来を創造する」という目標を掲げ、上記のようなローカルの経営課題に真正面から向き合い、それらを解決する力を備えたリーダーを育成することを目指します。

単に「講義で学ぶ」だけでなく、講義での学びを「実習」や「研究」と往来しながら検討を進める「往還型研究」の修学スタイルを採用している点が特徴です。

また、地域で活躍する社会人の修学を考慮し、主な授業科目を 6 限目(18:10-)に配備するなど、働きながら学びたい人々に配慮しています。

なお、本学院は、「研究科等連係課程制度」に基づいて設置されました。この制度は、岐阜大学の既存の研究科が連係して新たな学びの場を構築するというものです。これにより、本学院には経営学を専門とする教員に加えて、多様な専門領域にまたがる教員が参画しており、文理融合型の充実した学習・研究環境を提供します。

詳しくは、「社会システム経営学院」の web サイトをご覧ください。

<https://www.ssm.gifu-u.ac.jp/gsl/>



岐阜大学は、国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

東海国立大学機構 HP <https://www.thers.ac.jp/>



問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
学務部全学連携教育課 阪野
TEL: 058-293-3023 FAX: 058-293-3441
E-mail: banno.hidekazu.r6@mail.f.thers.ac.jp

GRADUATE
SCHOOL OF
SOCIAL SYSTEM
MANAGEMENT

社会

システム

経営学院

国立大学法人東海国立大学機構

岐阜大学大学院

ローカル
ビジネス
イノベーションで
未来を創造する

社会システム 経営学院とは？

社会システム経営学院は、「研究科等連係課程制度」に基づいて設置された大学院相当の組織（修士課程）であり、修了時には「修士（経営学）」の学位が授与されます。

「教育の特色」

1 ローカルの経営課題を解決するリーダーを育成します

「コア科目」により、経営学の基礎的・体系的な知識に加えて、これからの経営に必要なデータ分析やシステム思考の知識も修得します。「応用科目」（岐阜大学大学院の他の研究科や名古屋大学大学院経済学研究科の一部指定の授業科目も含む）により、幅広い知識を自身の興味、専門性、将来のキャリアプランに応

じて修得します。「実務家演習」(*)において、経営のリアルな課題を取り上げるワークの実施や、実際の経営者との討論などをとおして、経営者マインドを養います。専門知識の修得と経営者マインドの研鑽の両面から、リーダーに必要な基礎力の修得を目指します。

※実務家演習は包括連携協定を締結した株式会社フォーバル、税理士法人大樹、岩田会計事務所のほか、一般社団法人岐阜県経営者協会の支援を受けて実施します。

2 ローカルの経営課題の解決力を養います

「社会システム経営学実習」では、この地域で考えなければいけない課題を取り上げ、その課題に関わるステークホルダーを明確化し、それぞれに対して提案をします。さらに、「専門演習Ⅰ～Ⅳ」では、自分で解くべき課題を見つけ、それをプロジェクト研究

として取り組むことで、専門知の社会実装を目指すことができます。こうした学びと実践を繰り返す「往還型研究」により、ローカルの経営課題の実践的な解決力の修得を目指します。

3 多様な属性のプレイヤーによる深い学びの場を提供します

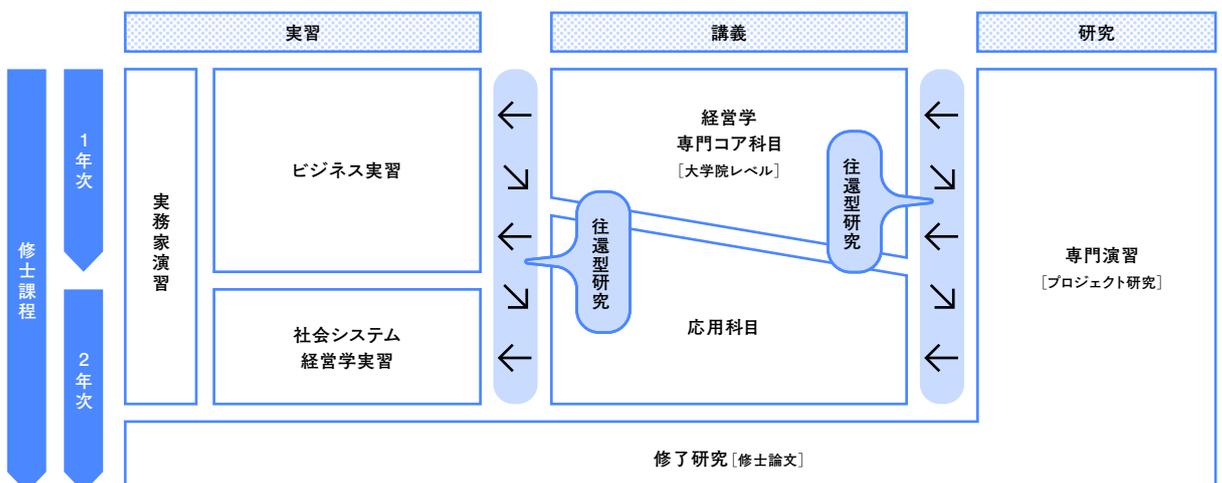
必修科目・選択必修科目の講義は6時限（18:10～19:40）中心に開講されます。オンラインでの受講も可能であり、さまざまなライフスタイルに合わせて学ぶことができます（一部に制限あり）。

問題意識や関心を共有している多様な学生、さらには複数の研究科に所属する多様な教員が集まり、お互いに刺激し合いながら学ぶ「共修」の場を提供します。

「往還型研究」

社会システム経営学院では、高度な専門知識を学ぶ講義、学んだ内容を現場で確認する実習の機会、社会実装を目指した研究の発展的継続を組み合わせた「往還型研究」に取り組むことで、

これからの組織リーダーに求められる実践的な課題解決能力を修得してもらうことを目指します。



01 履修モデル

社会システム経営学院では、経営学に関する専門知識に関する教育・研究に加えて、自然科学技術研究科、地域科学研究科、名古屋大学大学院経済学研究科と連携した文理融合型の教育・研究を実施します。さらに、社会人が働きながら学べるように、開講時間帯は6限目(18:10~19:40)を中心とし、リアルタイムでのオンライン受講なども一部活用することで

効果的かつ柔軟な履修体制を整えています。問題意識や関心を共有する社会人、学士課程からの進学者など多様な属性の大学院生と、様々な研究科に所属する教員が相互に刺激しあいながら学べる「共修」の場を構築します。所定のルールに基づき、2年間で30単位以上を修得することで、「修士(経営学)」の学位を授与されます。

※①マークのある授業科目は1単位、他は2単位

1 講義による学び

[1] コア科目(6時限開講)

経営学の体系知を修得します。

[必修科目(2単位修得)]

- ・社会システム経営学特論

[選択必修科目(10単位以上修得)]

- ・事業創造特論
- ・マーケティング特論
- ・ファイナンス特論
- ・デザイン思考特論
- ・会計学特論
- ・経営組織特論
- ・データリサーチ特論

[2] 応用科目(科目によって昼間、期間集中、6時限開講)

各自の関心、専門性、将来のキャリアプランに応じて選択します。

研究科等連係課程制度の強みを活かし、文理融合教育を展開した授業科目もあります。

[自由選択科目]

- ・生産管理特論
- ・環境経営特論

[自然科学技術研究科開講科目]

- ・基本データツールⅠ①
- ・リーダーシップ特論①
- ・都市経営論①
- ・農業経営特論①
- ・地域デザイン特論①
- ・基本データツールⅡ①
- ・リスクマネジメント特論①
- ・プロジェクトマネジメント特論①
- ・食料、農業政策特論①

[地域科学研究科開講科目]

- ・計量経済学特論

[名古屋大学大学院経済学研究科開講科目]

- ・人事管理特論

2 実習による学び

[1] コア実習 (6時限開講)

コア科目で学んだ内容を活かして、地域の経営課題の解決を目指すグループワーク型実習です。

[必修科目 (2単位修得)]

- ・社会システム経営学実習

[2] 実務家演習 (期間集中開講)

経験豊富な実務家の外部講師 (主に包括連携協定締結先から派遣) による講義で、具体的な課題を共有し、研究課題への応用力と汎用性の向上を図ります。

[選択必修科目 (ビジネス実習の授業科目と合わせ、2単位以上修得)]

- ・実務家演習I ①
- ・実務家演習II ①
- ・実務家演習III ①

[3] ビジネス実習 (期間集中開講)

各種の現場で直面する経営課題の考察と研究課題の抽出を行うインターンシップ型実習です。

[選択必修科目 (実務家演習の授業科目と合わせ、2単位以上修得)] ※社会人入試以外による入学者は2単位以上修得

- ・ビジネス実習I
- ・ビジネス実習II

3 実践による学び

専門演習 (6時限開講)

個別具体的な経営課題の解決に取り組むPBL型演習で2年間、各学年の授業科目と並行して指導教員の下で修士論文作成に取り組みます。

[必修科目 (8単位修得)]

- ・専門演習I～IV

02 修了後の進路

社会システム経営学院では、産業・業種・職種を問わず、将来、地域経済における組織のリーダーや、地域経済におけるビジネスの支援の公的・民的専門職など、幅広い分野での活躍を期待しています。

- 一般企業の経営者・管理職
- ファミリービジネスの後継者
- 経営コンサルタント
- 起業家
- 公務員
- 非営利団体 (病院、社会福祉法人、学校法人等) などの幹部職員

03 入試について

※詳細については必ず募集要項をご確認ください。

1 募集人員

6名(全入試区分の合計)

2 入試区分と選抜方法

選抜方法	一般入試 大学を卒業見込みの者若しくは卒業した者 又はそれらに準ずる者	特別選抜入試 岐阜大学の学士課程を優秀な成績で卒業予定 (GPA3.0以上)で、かつ、「指定の科目」の単位 を修得している者 *「指定の科目」は、社会システム経営学院が 指定する経営学関係の科目から、4単位程度設 定する	社会人入試 大学を卒業した者又はそれに準ずる者で、職 務経験が3年以上ある者
論述試験	経営戦略論、経営組織論、会計学、 ファイナンス、経営統計学から2科 目を選択	経営戦略論、経営組織論、会計学、 ファイナンス、経営統計学から1科 目を選択	
外国語	TOEIC/TOEFLを活用	TOEIC/TOEFLを活用	
面接	主に、研究意欲の評価、および、研 究計画の意義や妥当性等の評価を 行う	主に、研究意欲の評価、および、研 究計画の意義や妥当性等の評価を 行う	基礎的学力を評価するための提出 書類に基づいた口頭試験に加えて、 研究意欲の評価、および、研究計 画の意義や妥当性等の評価を行う

※外国人(外国籍を有し、在留資格が「永住者」「定住者」以外の者)の受験者は、
本学院が指定する日本語能力を測る試験の成績証明書の提出を求め場合があります(詳しくは募集要項をご覧ください)

3 配点等

入試区分に応じて、以下のように専門科目と英語に関する学力試験及び面接試験を実施し、それらの成績に基づいて総合的に合否を判定します。

[1] 一般入試

科目	専門科目(2科目)	面接試験(15分程度)	英語 ^{※1}
配点	100	150	50

※1 英語は筆記試験を実施せず、本学院が指定する語学試験の成績で評価します。

[2] 特別選抜入試

科目	専門科目(1科目)	面接試験(15分程度)	英語 ^{※2}
配点	100	150	50

※2 英語は筆記試験を実施せず、本学院が指定する語学試験の成績で評価します

[3] 社会人入試

科目	面接試験(30分程度)
配点	300

GRADUATE SCHOOL OF SOCIAL SYSTEM MANAGEMENT

[学生募集要項の入手方法]

学生募集要項の配布時期は、社会システム経営学院Webサイトにて公表します。冊子での配布は行いません。時期になりましたら社会システム経営学院Webサイトに電子ファイルを掲載しますので、各自ダウンロードしてご利用ください。

<https://www.ssm.gifu-u.ac.jp/gs/>



Website

[お問い合わせ]

岐阜大学 社会システム経営学院
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 岐阜大学
MAIL: keiei@t.gifu-u.ac.jp
TEL: 058-293-3440 FAX: 058-293-3441

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構

